

「新型コロナでそれどころじゃない」「レジ袋が有料化されたばかりなのに…」

指定ゴミ袋『導入』(来年10月予定) 反対の世論と運動を広げよう！！

8月25日、市議会全員協議会で新しく導入する市の計画について、説明がされました。

その中に、「指定ゴミ袋（ゴミ有料化）導入に向けた市民からの意見募集（パブリックコメント）の実施」が盛り込まれていました。

日本共産党は、新型コロナ禍、戦後最悪の経済の落ち込みを踏まえ「導入反対」を表明。他議員からも異論や慎重意見がだされています。

ご一緒に世論と運動を広げましょう。

【市の計画(案)】

- 袋の料金：サイズ大(45ℓ)10枚組220円、中(30ℓ)10枚組150円、小(20ℓ)10枚組110円
- 購入場所：量販店やネット通販

導入理由① 回収ルールが守られず、回収できないゴミがある

「他市指定ゴミ袋で捨てられる」…これらは他市の市民等の可能性もあり、市民の故意による違反かどうか不明です。

また回収できないゴミは「1ヶ所、年間18件」と市は回答。これは全体の0.5%で、地域差はあるでしょうが、「燃やすゴミ回収日」が1ヶ所週2回、年間100回で試算すれば、3週

間毎に1件の割合です。

「99.5%の市民は整然とルールを守っている」と市も認識しており、わずかなルール違反で、家計負担を増やす理由にはなりません。ましてや乳児・高齢者介護などオムツ排出の家庭ほど重い負担を強いられるなど、社会的弱者ほど格差が拡大しかねません。

導入理由② 違反ゴミの抑止、ゴミ排出の意識向上

ゴミ（廃棄物）は、集積所の見た目もさることながら、分別・資源化が徹底されてこそ意味を成すものです。

そもそも流山市では、旧ゴミ焼却施設の炉の延命のために炭酸カルシウム入りの指定ごみ袋を採用し、現クリーンセンターの稼働時（2004年）に指定ゴミ袋の廃止、現在のレジ袋によ

るゴミ排出へ移行させるなど、市民要望を反映させてきました。

また井崎市長が家庭ゴミ有料化を模索した2008年には、市民一人当たりのゴミ量を減少させ、有料化は凍結に。主体的な市民運動と、行政との協働でゴミ問題を解決する…これが流山市の歴史です。

意見募集

- 期間：9月1日～30日
- 場所：クリーンセンター、市役所、各公民館・出張所・図書館、生涯学習センターなど